

病児保育室かみなりくんからのお願い

1:病児保育室かみなりくんの受け入れの目安

ご利用のお子様に対し、安心安全な保育看護をさせていただくために、以下の症状については、お受け入れできませんのでご了承ください。

- ① 発熱 40℃以上
せん妄（異常言動等）
- ② 嘔吐・下痢 脱水症状があり、経口摂取ができない。頻回の嘔吐や下痢。
※また、医師から経口摂取について量や時間についての指示が細かく（例：15分おきに10ccずつなど）出されている場合も受け入れできません。

➤ ノロウイルスやロタウイルス等の感染性胃腸炎については、下痢嘔吐などの症状がある程度治まってからのお預かりとなります。

- ③ 咳・喘鳴 呼吸困難がある（喘鳴が多かったり、陥没呼吸・肩呼吸などがある場合）
- ④ 麻疹 麻疹の疑いも含む
- ⑤ 流行性角結膜炎 「はやり目」とも呼ばれています。
- ⑥ 医師の判断により、病児保育室での保育が不可の場合

☆保育看護中に上記のような症状が現れた場合、速やかにお迎えをお願いします。

2:発熱

入室時、平熱または微熱程度でも、必ず解熱剤（座薬等）を持って来てください。午睡後や夕方、熱が上がるお子さんも多いです。状況に応じて保護者様に連絡し、了解の上で使用します。

3:インフルエンザ

インフルエンザの流行する季節に発熱等の症状がある場合、医師に相談し検査を受けてきてください。1回目の検査が陰性でも、熱や倦怠感が続いたり、お子さんの過ごす環境で流行していたり、また、検査のタイミングが早いと正しい結果がでないことがあるため、2回目の検査をお願いすることもあります。

4:けいれん時の対応

- ① 救急車を呼ぶ ・初めてのけいれん
・2回目以降でも5分以上続くけいれん
（以前、熱性けいれんと診断された事があっても。）
・緊急を要すると思われるけいれん
- ② 座薬（けいれん時）の使用：事前（入室時）に保護者から医師の指示を聞き取り使用します。
- ③ 保護者への速やかな連絡：必ず連絡が付くようにしておいてください。

☆病児保育室でけいれんを起こした場合、速やかにお迎えをお願いします。

- ・救急車を呼んだ場合、搬送先の病院へ
- ・熱性けいれんの既往のあるお子さんが、5分以内で治まった時は病児保育室へ

5:マスクの着用

咳の有無に関わらず、お互いの感染予防のためにマスクの着用をしています。お家で着用が出来る出来ないに関わらず、2歳以上のお子様については、マスクを2・3枚持参してください。

6:医師連絡票・利用連絡票

ホームページからダウンロードしてご利用可能です。